


地震・台風 に備えて  



倒壊事故から
大切な命と財産を
守りましょう!

そのブロック塀、 安全ですか?

老朽化したブロック塀は、地震や台風などの災害時に倒壊し、
通行人や近隣の方に重大な被害を及ぼすおそれがあります。

 2018年の大阪北部地震では、小学校のブロック塀が倒壊し、
尊い命が失われる事故が発生しました。



ご自宅のブロック塀を点検しましょう!

塀が傾いている



ひび割れがある



鉄筋が見えている



基礎部分に亀裂がある



高さが高く
控え壁がない



建築から長期間
経過している



 **ひとつでも当てはまる場合は要注意!**

早めの対策で、事故を未然に防ぎましょう

危険を感じたら、放置せずに補修・撤去・
安全なフェンスへの改修などを検討しましょう。

危険なブロック塀



安全なフェンスや生け垣へ



定期的な点検を習慣にしましょう

年に1回は点検し、劣化の早期発見・早期対応が大切です。



専門家に相談しましょう

判断が難しい場合は、建築士や専門業者に相談し、
適切なアドバイスを受けましょう。

 **ブロック塀の安全管理は所有者の責任です**

万が一、ブロック塀の倒壊により通行人や近隣の方へ被害が発生した場合、
所有者が損害賠償責任を負う可能性があります。(民法第717条 土地の工作物責任)



安全なまちづくりは、
一人ひとりの点検から

大切な人や地域を守るため、
今できることから始めましょう。

お問い合わせ

宜野座村役場 建設課

TEL098-968-8564

定期的な点検と適切な対策で、災害に強く安全なまちをつくりましょう。



ブロック塀の点検チェックポイント

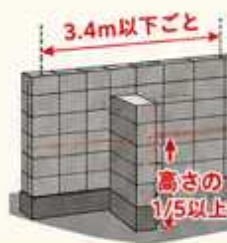
① 塀は高すぎないか

- ・塀の高さは地盤から2.2m以下か。



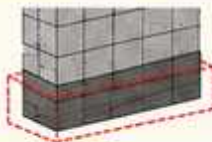
③ 控え壁はあるか

- ・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。(塀の高さが1.2m超の場合)



④ 基礎があるか

- ・コンクリートの基礎があるか。



⑤ 塀は健全か

- ・塀に傾き、ひび割れはないか。
<専門家に相談しましょう>

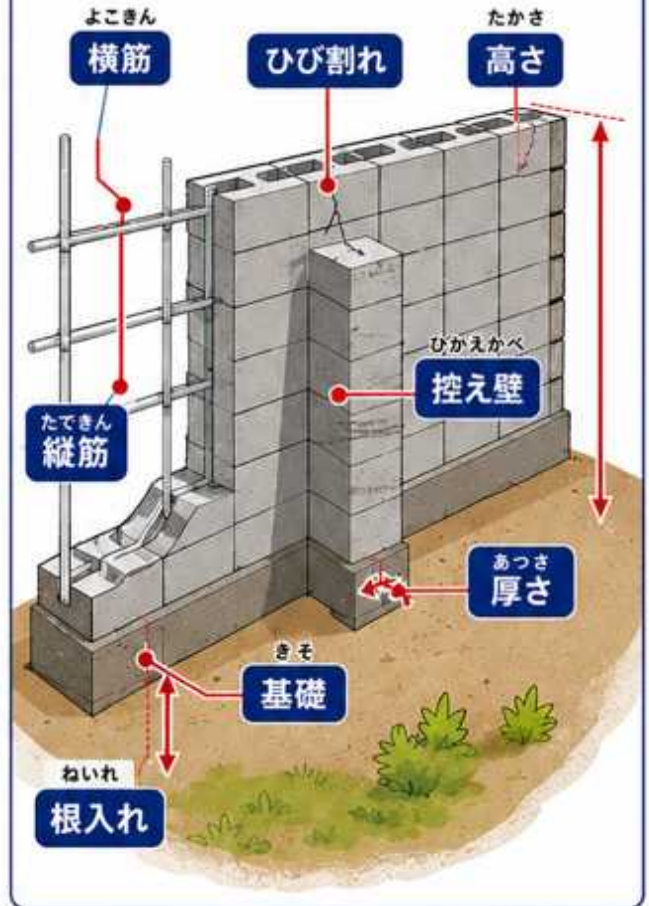


⑥ 塀に鉄筋が入っているか

- ・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。(塀の高さが1.2m超の場合)
- ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。



ブロック塀は部材ごとにいろいろな名称があります



ブロック塀の専門家を
活用しましょう。

ブロック塀に関するご相談は、以下の窓口へ連絡してください。



沖縄県土木建築部
建築指導課

〒900-8570
沖縄県那覇市泉崎1-2-2
行政棟10階

☎ 電話番号：098-866-2413

📠 FAX番号：098-866-3557



一般社団法人
沖縄県建築士事務所協会

〒901-2101
沖縄県浦添市西原1-4-26

☎ 電話番号：098-879-1020

📠 FAX番号：098-879-1026



特定非営利活動法人
沖縄県建築設計サポートセンター

〒901-2114
沖縄県浦添市安波茶1-32-13

☎ 電話番号：098-879-1311

📠 FAX番号：098-870-1611

発行・
問合せ先

宜野座村役場 建設課
TEL 098-968-8564

〒904-1392 宜野座村字宜野座 296番地
宜野座村ホームページ：<http://www.vill.ginoza.okinawa.jp/>

